

技術底上げの動きが加速する~九州・山口の金型・熱処理産業界

技術底上げの動きが加速する~九州・山口の金型・熱処理産業界

九州の熱処理技術協会

九州支部長 神谷 昌秀氏

「基礎教育セミナー」を

開催

「モノづくり産業の現状をどう見ていますか。」

「リーマン・ショックや東日本大震災、タイの洪水などで日本のモノづくり産業には大きな混乱が生じた。特に電力供給問題は、継続的な熱エネルギー使用を前提としている熱処理業界にとって非常に大きな問題だ。最近は回復基調にあると感じている。今年度は期待でき

ます。海外企業との競争激化により、発注元の状況が大きく左右され、先行きが不透明である。加えて海外材料の拡大などもあり、確実な熱処理技術

が求められます。

地域の製造現場で活動する若手技術者や研究者を対象に、材料の製造法や熱処理法、機械の特性の評価法などを

学ぶ機会を設け、地域に根付いた技術力を育んでいきたい」と語る。

「人材育成に取り組む

ことが、技術力向上につながります。これまで地場企業

が個別に連携して

人材教育面でも注目さ

れる。これまで地場企業

が個別に連携して

人材教育面でも注目さ